

2019年5月19日 主日礼拝

司 会 ①梅津兄 ②宮川兄 ③浜田兄

奏 楽

祈 禱 ①石橋兄 ②久保田兄 ③石塚兄

3つの愛

賛 美 聖歌419番「あなたのもてる悩みは」

(花咲く野原のように) (主イエスをほめよ)

聖 書 ①② ヨハネによる福音書1章35～42節 (P136)

③ ヨハネによる福音書8章1～12節 (P150)

音 楽 ① 感謝組

②③ サラ・ナオミ会

証 詞 ①② 本間裕樹兄(ヨシユア会)

メッセージ ①②「変えられた人生」 久保田豊副牧師

③ 「指で書かれた謎文字」 大川従道牧師

賛 美 「大波のように神の愛が」(献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「イエスは、また人々に語ってこう言われた、『わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう。』」(ヨハネ八の十二)

【大和ニュース】

☆6月のコンサートのチラシができました。祈って成功させましょう。

・ 入門講座Ⅲ、手話、エステル会、送迎駐車場、SS教師会、J.Plus、ICA禱援会、VIP横浜日吉(予約制)、学生会BBQあり。

* 東京カルヴァリーは5時。説教は大川牧師(「門をたたくとあけてもらえる」)。中野区弥生町5の5の1

* 今週も祈禱会を大切に！①水曜夜は森屋副牧師。②木曜朝は佐々木副牧師。
③金曜夜は川村補教師。

・ 土曜日:アブラハム会掃除。CBS プラス。聖歌隊とアンサンブル。

* クリーンキャンペーン(11:00昼食付き)。

* ICAインドネシアへ。ミッショントリップ。22～29日。お祈り下さい。

* インパーテンションの働きのため、ご協力下さい。新大久保駅近く。原田師。

石の枕

『文芸春秋』の六月特別号に、注目すべき論文が載っていました。

一つは、ジャーナリストの河合雅司氏の「超高齢化・令和24年問題」。

やがて日本の人口は、半分に減少する。デパートや銀行が閉店し、なんと自治体は半減する。まず起こるのが、人手不足。警察官や消防士、自衛隊といった若い力を必要とする人員確保が困難になる。引越し難民といって、手伝ってくれる業者がいなくなる。

もう一つは、歴史人口学者エマニュエル・トッド氏の論文、「日本人になりたい外国人は受け入れよ」である。

ヨーロッパでは、かつて英国やドイツが多文化主義を唱え、「移民を無理に統合させようとせず、彼らの自主性に任せる」という政策を採りました。しかし、結局うまくいきませんでした。

移民に対して「同化主義」を採用してきたのは、フランスです。日本なら、日本語と日本文化を主流として、「同化主義」を採ればよいのです。

移民の第一世代が、日本語や日本文化になじまず、異質のままであっても、それを認め、第二、第三世代が日本への帰化を望めば、それを歓迎する。そうした寛容で柔軟な「同化」政策こそ求められます。

大川論。「本質以外は寛容であれ！」。ダルビッシュ投手も、大坂なおみさんも、この度大さわざのサニブラウン君も、みなハーフ。なおみ節を寛容に受けとめれば、みな完ぺきな日本語を話し、英語もできる。みごとな日本人であり、国際人となっている。これです。

ダニエルやシャデラク・メシャク・アベデネゴのように、またヨセフのように、外国に同化して、美しい花を咲かせたように、私たち日本の国状を考え外国人に対する姿勢も変えなければならない。そんな御時勢に、インパーテーション・ミニストリーを新宿は大久保で始める。大川牧師は献身を新たにして邁進する覚悟。牧師が倒れないように祈って下さい。「すること、なすこと、みな成功します!!」。ただ今、改装中。完成したら祈りに来て下さい。

☆☆☆次は英語のジョーク I go to Tokyo。(これを過去形にせよ)。I go to Edo。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ヨハネ7章~9章 Bコース:列王紀下23章~歴代志上16章